



牡丹靖佳 展『馬鹿レチェと恐れミエドの会話』



いまがこれまでの続きだとどうして言いきれぬだろうか。

それと同じように壁紙の小鳥がどうして飛び立たないと言いきれぬのか。

--- 出典不明

牡丹靖佳は、自らをとりまく日常世界の仕組みを解体し、独自の感性とルールによって、繊細でどこか危うく、そこはかたないユーモアをも感じさせる魅惑的な絵画表現の中に再構築します。

牡丹はしばしば、キャンバス周辺の空間をも巧みに作品に取り込み提示しますが、本展では、ある二人の狂言回しによって展開する物語をベースとし、絵画を中心に、半立体の作品や投影機を使用したインスタレーションなど、多様な表現形態を用いながら、同時開催の寄神くりによる個展とも触発し合うひとつの空間装置としての作品世界をギャラリー空間全体へと展開します。

鑑賞者は、「何か」の予兆と痕跡だけが謎かけのようにちりばめられた空間＝作品のなかを彷徨いながら、物語そのものでもあり、物語の中に登場する屋敷でもあり、狂言回したちが話している部屋でもあり、現実空間でもあるような、いくつもの次元が重なり合った領域へと迷い込み、自らの曖昧で多層的な立ち位置に身を委ねながら、「どれが自分にとっての現実／実体なのか。」 こう問い直すことになるでしょう。

〈作品解説〉

緻密に描かれた山並みや木々の上から無造作に塗りたくったかのような赤や青の絵具。その滴りは、別のところから伸びてきた木の枝につながり、所在なげな絵具の染みからは小鳥が羽ばたき出す。広く残された余白は、乳白色の霧に包まれた空間の奥行きを感じさせると同時に、ただキャンバスという支持体の表面としてそこに存在しているようでもある――。

牡丹の描く絵画世界では、物質としての絵具と描かれたイメージという、絵画を成り立たせるふたつの相が、あるところでは交わらないものとして重なり、隣り合い、またあるところではグラデーションを成しながら互いに溶け合い、親密に結びつきます。鑑賞者の眼差しは、通常の意味や文脈から解放された世界の断片が密やかな暗号をやりとりする画面を漂ううちに、その交感の中へと惹き込まれていきます。そして、絵画空間という虚構と、鑑賞者の立つ現実空間は、知らず知らずのうちに地続きとなり、作品とその人との間だけに、もうひとつの風景が立ち現れるのです。

左上：(レチェ) 右上：(ミエド) 共に2010年、油彩、鉛筆、ジェッツ、リネン、335×24cm

【展覧会概要】

展覧会名：牡丹靖佳 展「馬鹿レチェと恐れミエドの会話」

会期：2011年1月9日(日)～2月5日(土) *日・月・祝休廊 但し、1/9(日)は開廊

会場：アートコートギャラリー 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間：11:00～19:00 (1/9 及び 土曜日～17:00)



(ボンヌ) 2010年、油彩、鉛筆、ジェッツ、キャンバス、1455×112cm

◆ 関連イベント ◆

1月9日(日) オープニングイベント

15:00～16:00 … 鼎談 [加須屋明子(京都市立芸術大学准教授) × 牡丹靖佳 × 寄神くり(個展同時開催)]

> 加須屋氏と牡丹、寄神の間で交わされる言葉を通して、二人の作家による作品世界がゆるやかに結びつくような対話の場を設けます。

16:00～17:00 …〈ACG新春歌留多大会〉 & レセプション

> 牡丹靖佳と寄神くりが共同で手掛けた創作カルタで、物語性に満ちた一年をスタートさせましょう!

主催：アートコートギャラリー(有限会社八木アートマネジメント)

協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、オー・エー・ピーマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [八木・清澤] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449

E-mail:info@artcourtgallery.com URL:www.artcourtgallery.com

牡丹 靖佳

BOTAN, Yasuyoshi

- 1971 大阪生まれ
- 1990 渡米
- 1991 School of Visual Arts, New York
- 1997 同校卒業 BFA Major : Fine Arts

| 個展 |

- 2010 「dodo」 MA2 Gallery/東京
- 2008 「into the forest」 hgrp GALLERY TOKYO/東京
- 2006 「雲居の余所」 大阪府現代美術センター/大阪
「むこう側への話」 TAP Satellite Gallery/茨城
- 2005 「Bloomfield」 トーキョーワンダーサイト渋谷/東京
「グレイの展覧会」 Gallery Art Point/東京
- 2004 「牡丹靖佳展 — 見立て、たぐらみ、壺中の術中」 INAXギャラリー2/東京
- 2003 「ヒトとモノ」 トーキョーワンダーサイト/東京
「牡丹靖佳展」 セゾンアートプログラムギャラリー/東京
- 2002 「トーキョーワンダーウォール 2002」 東京都庁/東京
- 2001 「INAX文化推進部エンピツ課」 INAXギャラリー2/東京

| 主なグループ展 |

- 2010 小池一馬・牡丹靖佳 「A silent moment at Veronica island」 hgrp GALLERY TOKYO/東京
- 2009 「My story」 MA2 Gallery/東京
林勇気・牡丹靖佳・山野千里 「migratory -世界に迷い込む-」 ARTCOURT Gallery/大阪
- 2008 「ACG eyes : 映像とドローイング -narrative-」 ARTCOURT Gallery/大阪
- 2006 「モンブラン国際文化賞授賞式」 東京
- 2005 「iimawashi」 Merz Gallery/エディンバラ、スコットランド
「ストリートペインティング、壁画」 東京都立駒沢オリンピック公園/東京
「Wonder Seed +」 トーキョーワンダーサイト/東京
- 2004 「コンテナ展」 トーキョーデザイナーズウィーク/東京
「トーキョーワンダーウォールの作家たち」 東京都現代美術館/東京
「Emerging Artist」 トーキョーワンダーサイト/東京
「Artist Night vol.3」 トーキョーワンダーサイト/東京
- 2003 「スキマ・ザ・バスハウス」 SCAI ザ・バスハウス、コマンドN/東京
「0号展」 トーキョーワンダーサイト/東京
- 2002 「取手リ・サイクリングアートプロジェクト 2002」 取手アートプロジェクト/茨城
「トーキョーワンダーウォール公募」 東京都現代美術館/東京
「21世紀のB.フラーになろう」 ワタリウム美術館/東京
「第5回岡本太郎記念現代美術大賞展」 川崎市岡本太郎美術館/神奈川
- 2001 「スキマプロジェクト1・2」 コマンドN/東京
- 2000 「第5回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ」 北海道立近代美術館/札幌
- 1998 「Al Brunelle's curating exhibition」 School of Visual Arts Gallery/ニューヨーク
- 1995 「19th Annual Students Exhibition ; Represented from School of Visual Arts」
The National Arts Club/ニューヨーク

| 主な受賞歴 |

- 「第4回SAP美術家助成プログラム」 (セゾンアートプログラム)
- トーキョーワンダーウォール賞「Tokyo Wonder Wall 2002」 (東京都現代美術館)
- 特別賞「21世紀のB.フラーになろう」 (ワタリウム美術館)
- 「アイデアコンペティション」 (第2回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003)
- 「10days selection」 (INAXギャラリー)

| パブリックコレクション |

トヨタアートコレクション